

平成12年度石川県保育士試験問題

社会福祉(その1)

[各問題の解答は、すべて解答用紙に書くこと。問題用紙も、かならず提出すること。]

1 次の文章の()の中にあてはまる語句を記入しなさい。(解答用紙に記入)

すべて国民は健康で(1)な(2)の生活を営む(3)を有する。国は、すべての(4)について、社会福祉、(5)、公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。 [日本国憲法より]

2 次の(1)~(5)に関係のある事項を下欄から一つ選び、その記号を解答用紙に記入しなさい。

- (1) 友愛訪問活動を実施。慈善事業の連絡調整。
- (2) 労働能力のある貧民の救済は独立自立している労働者の最低階層の労働・生活状態より実質・外見ともに低いものでなければならない。
- (3) 小学校通学区域を一地域として、救済を必要とする人びとの生活状況を調査。
- (4) イギリスにおける「社会保険および関連諸サービスに関する委員会報告」
- (5) 明治時代に設立された育児施設(現在の滝乃川学園)

ア 恤救規則	エ 方面委員制度	キ 慈善組織協会
イ ビバリッジ報告	オ 救護法	ク 石井十次
ウ 石井亮一	カ 劣等処遇の原則	ケ スピーナムランド制度

3 次に掲げる事項について、説明しなさい。(解答用紙に記入)

- (1) 身体障害者手帳
- (2) 療育手帳

4 次の文章で正しいものには○、誤っているものには×を解答用紙に記入しなさい。

- (1) 1947年には児童福祉法が、1949年には精神薄弱者福祉法が成立した。この2つの法律と生活保護法とをあわせて、いわゆる「福祉3法」体制が1950年までに確立した。
- (2) 1961年には、国民年金と現行の国民健康保険が実施され、すべての国民を何らかの年金保険、医療保険でカバーする国民皆年金・国民皆保険体制が実現した。
- (3) 1987年には、社会福祉士、介護福祉士というわが国初の福祉専門職資格が国家資格として制度化された。
- (4) 1992年、急速に進行する高齢化に対応するために、「高齢者保健福祉推進十か年戦略(ゴールドプラン)が策定された。
- (5) 介護保険制度のサービスを利用できる人は65歳以上で「要介護」または「要支援」と認定された人のみである。

5 生活保護法にいう保護の種類を5つ解答用紙に記入しなさい。

受験番号

平成 12 年度石川県保育士試験問題

社 会 福 祉 (その2)

6 次に掲げる社会福祉施設の根拠になる法律名を解答用紙に記入しなさい。

- (1) 母子生活支援施設
- (2) 知的障害者更生施設
- (3) 肢体不自由児施設
- (4) 老人保健施設
- (5) 救護施設

7 ケースワークの過程において最初に行われる面接をインテークと言う。インテークの目的について述べなさい。(解答用紙に記入)

- (1)
- (2)
- (3)

8 次に掲げる事項について、簡潔に説明しなさい。(解答用紙に記入)

- (1) 介護支援専門員
- (2) 児童自立支援専門員
- (3) 作業療法士
- (4) 児童委員

9 次の(1)~(5)の中に下欄から適当な語句を選び、その記号を解答用紙に記入しなさい。

- (1) 国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、2050年には高齢化のピークを迎え、総人口の()%が65歳以上となる。
- (2) 母子及び寡婦福祉法において「児童」とは、()歳に満たない者をいう。
- (3) 「利用者システム」としての小集団に対応する援助活動における援助技術を()という。
- (4) 新ゴールドプランは、()、自立支援といった理念を明確に示している。
- (5) 福祉事務所はおおむね人口()万人当たり1か所設置することとされている。

ア 15	エ 20	キ 集団援助技術	コ ケースワーク
イ 利用者本位	オ 32.3	ク 10	サ 権利
ウ 自己実現	カ 18	ケ 地域援助技術	シ 23.7

10 社会福祉制度を取り巻く環境は、大きく変化しているがその中の一つをあげ説明しなさい。(解答用紙に記入)

受験番号